



梅雨の季節になると、「雨、雨、降れ、降れ、母さんが～蛇の目でお迎え嬉しいな～」の歌が浮かんできます。私は、今、この歌が好きですが子供のころは嫌いでした。今は珍しくありませんが、私は1年生の時から「かぎっ子」でした。放課後、雨が降ると子供の傘を持って、たくさんのお母さんが玄関に迎えに来ていました。その中に私の母はいつもいませんでした。とても悲しかったです。

高校になると、さすがに迎えに来るお母さんは余りなく、傘のない人は濡れて帰りました。昔を思い出すと、ほっとする自分がいました。でもそう思う自分が悲しかったです。時代が変わり、今の子供たちはどう感じるのでしょうか？ 聞いて悲しい顔をしたら、やさしく労ってあげてください。



現在、働くお母さんが年々増えてきています。

「小さい子を預けて働くなんてかわいそう。」と批判する人たちも少なくありませんが、短時間でも親子が適切に触れ合い、質の良い育児が出来ればまったく問題はないと研究結果が出ているそうです。

愛情に包まれ、安心出来る環境で育てることは、とても大切なことです。それが母親でなければならないというものではなく、父親、祖父母、保育者でもよいわけです。そして、皆で協力することでよりよい子育てが出来るのだと思います。働くお母さん！自信を持って育児をして下さいね。



ご存知ですか？ 保育のご依頼は、メールでも！

保育のご依頼、その他お問い合わせなどは、メールでも受け付けています。

電話のように話し中ということもありませんし、内容の記録が残るのがメリットですね。

アドレス kidspocket@yahoo.co.jp **どうぞ、ご利用下さい！**

なお、お急ぎのご用件は、電話をご利用下さい。